

お金に余裕がない狛江市で、お金を使わずアタマを使った、市民全体のための市政を目指します。



謹賀新年

# 無所属の狛江市議会議員 三宅まことの 市政レポート

Vol.7 2017年正月号

市政報告レポート 2017年正月号 【発行】狛江市議会議員 三宅まこと事務所  
〒201-0004 狛江市岩戸北3-18-8-701 TEL:090-3815-6045 FAX:03-3489-1677

公式HP <http://三宅まこと.com>

新年も8日に松が明けるわけですが、狛江市民の皆様方におかれましては如何お過ごしでしょうか？  
干支の言い伝えで酉年は商売繁盛に繋がると考えられているそうです。酉(トリ)は「取り込む」ことに通じ、そこから運氣もお客様も取り込めるというものです。皆様方の日頃のご努力が実を結ぶことをご祈念申し上げ、「コケッコ」ならぬ、「ケッコ」な年になることが、新年にあたりまして、私が願うところでもあります。  
さて、酉年に私は、特定の誰かのためというのではなく、市民全体が「ケッコ」に思っていたく市政を目指します。頑張った方が報われる世の中になりますようにという視点で活動してまいります。税収が右肩上がりの時代は終わりました。今後、限られた財源を有効に活用していくためには、民間企業出身の経験と知恵が必要とされます。まさに「古臭い常識」にとらわれることのない「新しい発想力」が求められるわけです。そうした視点を重視し、今年もわかりやすく政治をお伝えしてまいります。  
「お帰りなさい。狛江のまちへ。」という市民の皆様が日々の生活の中で、感じていただけるように。  
私は市民ファーストの新しい希望を目指してまいります。  
無所属の市議会議員 三宅まこと



## 8日(日)は「こまえ初春まつり」 で、新春版“こまえの数字”をお届けします。

1月8日(日)、多摩川緑地公園グラウンド  
(和泉多摩川駅徒歩3分)にて

1



どんど焼きは  
無病息災、五穀豊穡を  
願う正月の伝統行事です。



狛江市消防団  
出初式



多摩川  
ロードレース

イラストはイメージです  
※マラソン参加者は平成28年12月14日現在申込者

初春まつりは、イベントが盛りだくさん。因みに今年のマラソン参加者は591名(※)

2



角野卓造  
じゃねわ!



テレビでおなじみ  
伝説の晴れ着写真

※平成8年4月2日生～平成9年4月1日生市内在住者

そして、9日(祝)は  
エコルマホールで  
成人式、今年の成人は  
729名(※)です。  
エコルマ成人式伝説…  
ハリセンボン  
春菜さん  
(狛江出身)

3



※平成28年7月31日執行東京都知事選狛江市投票率

さて、今年は都議会議員選挙の年。18歳以上の方は選挙に行ってください！因みに昨年の都知事選投票率は63%(※)

4



というわけで、今年も毎週月曜朝の目覚ましがり、狛江駅北口「こまえの数字」で、皆様方にお目にかかりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

ウラ面では、12月議会にて議決されたばかりの「議員報酬・定数」のお話をご説明いたします。

# 速報!

## 報酬審議会、市民の声は議会に届かず…「議員定数減」を反映しない現状維持案が12月議会にて議決されました。

私が所属しております粕江市議会議員の議員定数・報酬に関しては、平成27年3月議会において、当時の提案者から条例提案された結果、平成29年3月31日まで2年間の時限立法という条件で現行の議員報酬及び議員定数が議決され、現在運用されております。

そして平成28年12月19日開催された粕江市議会第四回定例会最終日にて、平成29年4月1日以降の報酬、定数に関して各会派から条例提案されました。無会派の三宅まことは、無会派の山田たくじ議員、無会派(自民党)の辻村ともこ議員と三人共同で「次回改選時に議員定数1名減&歳費水準を従前に戻し、全体で総支給額減額、議会力強化」を骨子とする条例案を提案も議場にて否決されました。採決された案は、提案者：自由民主党・明成クラブ、粕江市議会公明党、無会派(民進党)三党派議員による「現時点での定数および歳費の維持」を骨子とする条例案です。その結果、下記一覧表の【現時点】水準が、平成29年4月以降も維持されていくことになります。つきましては、当条例案議決までの経緯に関し、下記表を使ってご説明致します。

時系列の議員歳費内訳	役職	月例				歳末手当					総額(歳費)
		報酬	人数	月	小計	基礎加算	報酬×基礎加算	人数	月	小計②	
前回答申時 平成27年3月31日以前 (約2年間は実際に1名減で運用) ヒラ議員の歳費8,370千円	議長	547,000	1	12	6,564,000	1.20	656,400	1	5.0	3,282,000	186,624,000
	副議長	489,000	1	12	5,868,000	1.20	586,800	1	5.0	2,934,000	
	各委員朝	473,000	4	12	22,704,000	1.20	567,600	4	5.0	11,352,000	
	ヒラ議員	465,000	16	12	89,280,000	1.20	558,000	16	5.0	44,640,000	
現時点 平成27年4月1日から 平成29年3月31日まで ヒラ議員の歳費8,035千円	議長	547,000	1	12	6,564,000	1.20	656,400	1	4.4	2,888,160	179,159,040
	副議長	489,000	1	12	5,868,000	1.20	586,800	1	4.4	2,581,920	
	各委員朝	473,000	4	12	22,704,000	1.20	567,600	4	4.4	9,989,760	
	ヒラ議員	465,000	16	12	89,280,000	1.20	558,000	16	4.4	39,283,200	
否決された条例案 辻村議員 山田議員 三宅案 平成29年4月1日から 平成31年4月30日任期満了まで ヒラ議員の歳費8,035千円	議長	547,000	1	12	6,564,000	1.20	656,400	1	4.4	2,888,160	179,159,040
	副議長	489,000	1	12	5,868,000	1.20	586,800	1	4.4	2,581,920	
	各委員朝	473,000	4	12	22,704,000	1.20	567,600	4	4.4	9,989,760	
	ヒラ議員	465,000	16	12	89,280,000	1.20	558,000	16	4.4	39,283,200	
平成31年粕江市議会議員改選後の議員任期開始日以降 ヒラ議員の歳費8,370千円	議長	547,000	1	12	6,564,000	1.20	656,400	1	5.0	3,282,000	178,254,000
	副議長	489,000	1	12	5,868,000	1.20	586,800	1	5.0	2,934,000	
	各委員朝	473,000	4	12	22,704,000	1.20	567,600	4	5.0	11,352,000	
	ヒラ議員	465,000	15	12	83,700,000	1.20	558,000	15	5.0	41,850,000	

**経緯** 上記【前回答申時】は、市長の諮問機関、特別職報酬等審議会答申(平成27年1月)で対象となった議員歳費、すなわち平成27年3月以前の水準です。報酬の定義は月例給与となります。期末手当、年間の歳費や定数は審議対象ではないことから、まずは「適正と考える年間総支給額」を設定し、報酬に逆算した答申ということになりました。同じく表の【現時点】は、平成28年度現在の歳費水準です。答申を受けた議会では、3党派から条例提案されました。その結果、採決された提案者からの条例案内容及び提案理由は次の通り。

**期末手当5.0ヶ月を、2年の時限立法で4.4ヶ月に【平成27年3月議会最終日、自由民主党明成クラブ提案】**

提案理由：議員報酬と定数は一体で考える。第9回市民意識調査においても報酬より定数(現行定数22名)の問題を取り上げている意見ははるかに多い。2年間の期限を設けたのは、改選後2年間で報酬も含め議員定数の議論をして答えを出していただきたい。定数に関して2年という期限を設けたのは4年後を考えてのこと。

(平成27年3月26日第一回定例会第5号日程第35 議員提出第2号「粕江市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」に関して粕江市議会ホームページ議事録検索システムから抜粋)

以上、粕江市議会が経てきた経緯をまとめますと、

- ①議論の出発点となった報酬審議会は、「月額報酬ではなく年間総支給額を減額すべき」という答申であった。
- ②市民(第9回市民意識調査等)からは、「報酬」の問題ではなく「定数を削減すべき」という声が圧倒的に多い。
- ③人口規模5~10万未満(粕江は8万)の市議会議員定数1市あたり平均は21.2名(全国市議会議長会・市議会議員定数に関する調査報告書平成27年12月31日資料表4)

以上の理由から

次回改選時から議員歳費を前回水準に戻すことで「優秀、且つ若い人材」を確保し、議会の質をあげていくという視点を担保しつつ、現行22名の定数を1名減により議員全体での歳費全体支給額を減額する条例案を、無会派3名で共同提案したところ、残念ながら…

# 否決

結局、2年間の議論を経ても、議員定数22名維持、歳費水準維持で何も変わらず。

メール(info@miyakemakoto.jp)

にてご意見をお聞かせください。

## 粕江の数字 25,000円

昨年、富山市議会の政務活動費に関する不正支出がマスコミを賑わせたことは記憶に新しいところです。また、小池旋風が吹き荒れた都知事選挙を機に東京都議会議員への風当たりが強まりました。政務活動費は、なんと一人当たり月額60万円、年間で720万円になります。それ以外に議会へ行くだけで支払われる交通費、いわゆる「非課税の費用弁償」は1日1万円ということで都民の批判が集まっているわけです。

さて、わが粕江市議会、日本で2番目に面積が小さい粕江市ということで、当然ながら交通費等は実費支給。また、政務活動費は一人当たり月額2万5千円、年間で30万円の支給となります。もっとも、議会局ホームページで政務活動費の内容をご覧になれるのは各会派の年度費消金額一覧までです。領収書提出が義務付けられているにも関わらず、インターネットで公開しておりません。そういう意味では粕江市議会がガラス張りを求める市民の皆様の声に傾けてくれることを望みます。当然ですが私の政務活動費(領収書)はインターネットで公開しております。http://三宅まこと.com

## ギカイのフシギ つまらない議会報

実は平成29年度から粕江市議会が発行している「議会だより」がカラー化される予定です。多摩26市中、類似団体(財政規模が同等の市)9市の中で議会だよりがモノクロ印刷で市民の皆様にお届けしているのは粕江市だけです。今回、来年度予算編成の中で私が声をあげて「印刷費総額を減少させて、モノクロ印刷からカラー印刷に変更」という交渉を議会事務局を通じて実現いたしました。私は27年間民間で勤務してきた視点で「改革できる部分はないか?」と、細かい部分に目配せしてきた結果として、市民の皆様にも少しでも議会を身近に感じていただくため、あえて「悪者役」をかってでた?という経緯となります。

同時に市民の皆様にとって、より開かれた議会としていくためにも、内容やデザインを改革し、「もっと興味が湧くような議会報」にしていきたいのですが、議会のがんじがらめルールでそうそう議論が進みそうにありません。トホホ。